



平成 27 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 シンデン・ハイテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 城 下 保
(コード番号：3131)
問合せ先 取締役管理本部長 齋藤 敏積
(TEL. 03-3537-0101)

東京証券取引所 J A S D A Q への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 3 月 25 日に東京証券取引所 J A S D A Q に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの当期の業績予想は、次のとおりであり、また、最新の決算情報等につきましては別途のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	平成 27 年 3 月期 (予想)			平成 27 年 3 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 3 月期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高	47,969	100.0	24.9	33,607	100.0	38,393	100.0
営 業 利 益	525	1.1	△34.5	132	0.4	802	2.1
経 常 利 益	353	0.7	△52.5	86	0.3	744	1.9
当期（四半期）純利益	214	0.4	△49.2	41	0.1	422	1.1
1 株 当 た り 当期（四半期）純利益	267 円 24 銭			51 円 48 銭		527 円 01 銭	
1 株 当 た り 配 当 金	70 円 00 銭			—		60 円 00 銭	

(注) 1. 平成 26 年 3 月期（実績）及び平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 平成 27 年 3 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（100,000 株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 18,900 株）は含まれておりません。

以 上

ご注意： この文書は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年3月25日

上場会社名 シンデン・ハイテックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3131 URL <http://www.shinden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 城下 保
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 敏積 TEL 03 (3537) 0101
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	33,607	-	132	-	86	-	41	-
26年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 63百万円 (-%) 26年3月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	51.48	-
26年3月期第3四半期	-	-

(注) 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の記載及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	20,893	3,068	14.6	3,820.90
26年3月期	13,754	3,054	22.1	3,803.42

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,060百万円 26年3月期 3,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	60.00	60.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,969	24.9	525	△34.5	353	△52.5	214	△49.2	267.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益は公募株式数(100,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出し(最大18,900株)に関する第三者割当分は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	801,000株	26年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	801,000株	26年3月期3Q	一株

（注）当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
(1) 品目別販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済の景気減速、欧州経済の低迷と原油安によるロシアを中心とする新興国不安の中、米国経済が個人消費、雇用、住宅市場の回復により拡大基調にあり、総じて緩やかながらも景気回復に向かいつつあります。

日本経済につきましては、政府の円安基調の金融政策により自動車産業を中心とする輸出産業が業績拡大を牽引しているものの、消費税増税後の個人消費の落ち込みからの回復感のないまま推移しております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、第2四半期連結会計期間に続き設備投資関連需要の回復が国内外で続いており、工作機械向けの電子部品や車載用機器向けの電子部品が堅調であることが先行きを明るくしております。

このような情勢の下、当社グループの業績は、前年度に引続き車載用液晶のビジネスが堅調に推移し、異物検出機や産業用機器向けの高採算ビジネスにつきましても堅調に推移しました。また、サーバ向けメモリの売上が増加しました。しかし、来期以降の利益に貢献する半導体の研究開発費1億76百万円を当期に計上した結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は336億7百万円、営業利益は1億32百万円、経常利益は86百万円、四半期純利益は41百万円となりました。

品目別では、液晶分野は、車載用機器向け等が好調により、売上高176億10百万円となりました。半導体分野は、液晶用のドライバーICやAV機器向けメモリや照明用LEDが好調により、売上高107億66百万円となりました。電子機器分野は、異物検出機や産業用機械向けが堅調に推移したこと、携帯基地局及び複写機向けのメモリモジュールの受注が増加したことにより、売上高40億14百万円となりました。その他分野は、液晶部材販売の終息により売上高12億16百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

当第3四半期連結累計期間は、前年度に引続き車載用液晶及び中堅顧客向けの異物検出機や産業用機械向けの電子機器が堅調に推移し、売上高は304億13百万円、セグメント利益は1億14百万円となりました。

(海外)

当第3四半期連結累計期間は、半導体分野の売上高の減少がありましたが、高採算の液晶検査ビジネスの増加が寄与し、売上高は31億94百万円、セグメント利益は54百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

総資産は208億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億38百万円(51.9%)増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が25億94百万円(36.3%)、商品が24億48百万円(71.7%)、現金及び預金が11億34百万円(43.9%)それぞれ増加したことによるものであります。

② 負債

負債は178億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億23百万円(66.6%)増加しました。主な要因は、有利子負債が63億40百万円(101.1%)、買掛金が9億99百万円(25.5%)それぞれ増加したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は30億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円(0.5%)増加しました。主な要因は、為替換算調整勘定が20百万円(285.2%)変動したことによるものであります。

④ 経営指標

流動比率は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ13.8ポイント減少し146.3%となりました。自己資本比率は、受取手形及び売掛金、商品の増加による総資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ7.5ポイント減少し14.6%となりました。有利子負債対純資産比率は、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント増加し4.1倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想につきましては、第3四半期累計期間まで業績が概ね計画通り推移しているため、予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,585,080	3,719,161
受取手形及び売掛金	7,146,751	9,741,220
商品	3,415,445	5,864,439
その他	393,656	1,333,490
流動資産合計	13,540,934	20,658,311
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	7,122	7,029
その他（純額）	12,855	10,977
有形固定資産合計	19,977	18,006
無形固定資産		
ソフトウェア	7,605	7,029
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	8,917	8,340
投資その他の資産		
投資有価証券	261	332
差入保証金	158,834	158,957
その他	26,019	49,061
投資その他の資産合計	185,114	208,351
固定資産合計	214,009	234,699
資産合計	13,754,944	20,893,010
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,920,276	4,920,089
短期借入金	1,844,364	5,896,000
1年内返済予定の長期借入金	1,777,781	2,548,488
1年内償還予定の社債	445,000	500,000
未払法人税等	271,326	12,424
賞与引当金	56,479	26,395
その他	141,008	213,721
流動負債合計	8,456,236	14,117,120
固定負債		
社債	397,500	405,000
長期借入金	1,806,617	3,262,557
退職給付に係る負債	9,191	9,902
その他	31,022	29,619
固定負債合計	2,244,331	3,707,079
負債合計	10,700,567	17,824,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	841,875	841,875
資本剰余金	522,375	522,375
利益剰余金	1,674,967	1,668,139
株主資本合計	3,039,217	3,032,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	6
為替換算調整勘定	7,305	28,140
その他の包括利益累計額合計	7,325	28,147
少数株主持分	7,833	8,274
純資産合計	3,054,376	3,068,811
負債純資産合計	13,754,944	20,893,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	33,607,451
売上原価	31,898,175
売上総利益	1,709,276
販売費及び一般管理費	1,576,870
営業利益	132,405
営業外収益	
受取利息	1,615
仕入割引	48,887
為替差益	39,549
その他	4,677
営業外収益合計	94,730
営業外費用	
支払利息	82,313
債権売却損	20,679
支払手数料	28,562
その他	9,352
営業外費用合計	140,906
経常利益	86,229
特別損失	
関係会社清算損	3,988
特別損失合計	3,988
税金等調整前四半期純利益	82,240
法人税、住民税及び事業税	47,566
法人税等調整額	△7,326
法人税等合計	40,239
少数株主損益調整前四半期純利益	42,001
少数株主利益	768
四半期純利益	41,232

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42,001
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△13
為替換算調整勘定	21,276
その他の包括利益合計	21,262
四半期包括利益	63,263
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	62,054
少数株主に係る四半期包括利益	1,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 品目別販売実績

品目別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)
液晶	17,610,870	52.4
半導体	10,766,311	32.0
電子機器	4,014,204	12.0
その他	1,216,065	3.6
合計	33,607,451	100.0